

DAIHATSU HIJET JUMBO ダイハツ ハイゼット ジャンボ

見た目も走りも超ホンキ!
リフトアップで機動力も大幅アップ

走る！カスタム

乗れば絶対欲しくなる！
大人のアウトドアツール

荷物の積載能力、そして狭い道でもキビキビ走れる俊敏なフットワーク特性を持つ軽トラ。その仕事グルマとしてのタフネスさに、遊びの要素をアレンジしたのがシーザーが展開するアゲトラシリーズ、サムライビクダ。今回スポットを当てたのは、4インチアップ仕様の「嵐」。ベースとして用いられている車両は、快適なリクライニングシートを備えた大型キャビンが人気のハイゼットジャンボ。フロントにはサムライビクダ用として開発された調整式のロングシヨックが組み込まれ、リア側はスベサーブロックと専用シヨックを採用。ドライブシャフトの角度の補正やプロペラシャフトの延長スベサーなど、リフトアップに伴う各部の対策も入念に行なわれている。

また、フエンター内スペースが拡大されたことでタイヤサイズの選択幅も大幅に広がり、185サイズのオフロードタイプのタイヤも装着可能に。持ち前の軽量ボディと余裕のロードクリアランスにより、ノーマルでは絶対に入れないガレ場も難なくクリア。その他、ガードバー風のバイパーンバーやフエンタープロテクターなど、ボディ周りのオプションも豊富に用意されているので、自分だけの個性を楽しむこともできるゾ！



HIJET JUMBO (S510P) ダミー

- ベース車両 SA Ⅲt 4WD/4AT
- 車両本体価格 0,000,000円(税込)
- パーツ合計価格 0,000,000円(税込)
- 総合計価格 0,000,000円(税込)

販売価格 0,000,000円(税込)

※000,000円(税込)もお得
※車両本体価格には、登録に伴う諸費用・リサイクル料金は含まれておりません。

高め・深めよ！
走破力。



シーザー

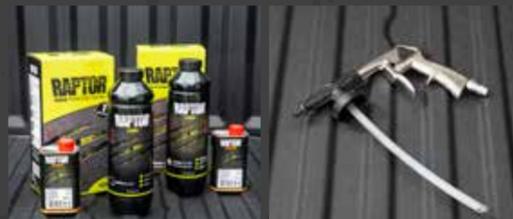
●CAESAR (シーザー) ●電話: 0479-75-2726 ●HP:

143 PHOTO●西野キヨシ TEXT●高橋陽介

塩水や砂などからベッドを保護するRAPTOR LINER(ラプターライナー)



軽トラの実用性を損なわず、スタイリッシュにアレンジするカスタムを提案するシーザーでは、防錆コートというサービスを実施している。ここに紹介するハイゼット ジャンボには、ラプターライナーで防錆効果を高めている。シーザーの深海さんは「カーゴベッド表面のキズやサビを気にする人は多いです。一旦キズが入ってしまうと、見た目もそうですが、サビの進行も気に留めなくてはなりません。なので、少々費用がかかってもコーティングは結果的には経済的と言えるでしょう」とのこと。



塗布作業だが、腕に覚えがあるならDIYも可能だが、しかし、細部までしっかりと塗料を吹き付けるには、プロに任せるのがベストな選択。



タイヤアーチといった曲面や、ベッドの淵といった細かな部分にもしっかりとコーティングが行き渡る。紫外線にも強いのでエクステリアへの塗布も積極的に行いたい。ザラザラとした仕上がりになるので、タフな雰囲気を感じさせてくれる。

SAMURAI PICK 嵐 ARASHI

装備品 (タミー)

□ああああああああああ□ああああああああああ□ああああああああああ
 □ああああああああああ□ああああああああああ□ああああああああああ
 □ああああああああああ□ああああああああああ□ああああああああああ
 □ああああああああああ□ああああああああああ□ああああああああああ
 □ああああああああああ□ああああああああああ□ああああああああああ
 □ああああああああああ□ああああああああああ□ああああああああああ
 □ああああああああああ□ああああああああああ□ああああああああああ



サムライピックアップ・嵐のキモはサスペンションにあり。



4インチアップサスペンションキット

初期タイプではフロント側の車高アップにはスパーサーが用いられていたが、現在は専用のロングショックに変更。より高い完成度を目指すべく、細部の改良は常に行われている。



マシングレイというサムライピック専用のカラーリングが施された、オプションのエクストリームJ。

ビードロック風デザインを持つエクストリームJ-XJ04に、マギスのA/Tタイヤを組み合わせる。185サイズが履けるのも、この車高があつてこそ。



4インチアップにより、運転席からの視線はほぼワンボックスカー並みの高さ。そこで安全確保のため備えておきたいのがこのアイテム。



リフトアップスタイルに磨きをかけるアイテムとしてぜひ揃えたい。パイプバンパーAタイプ。小ぶりなBタイプも設定されている。



4インチ(約102mm)と重心はかたや高くなるが、ドライブシャフトに不安はない。車高を意識するのは乗降時だけだ。



リーフは純正ながら、岩場も余裕でクリア。ここからさらに自分流に手を加えてみるのもアリだ。



この春、発売が開始されたばかりのニューアイテム、フェンダープロテクター。素材はABS製で厚さは8mm。もちろん、車検もOKだ。



4WDロゴ入りのマッドガード。クロカンマシ的な雰囲気を高めるだけでなく、後方への泥や跳ね石の飛散を防ぐためにも必要なパーツ。